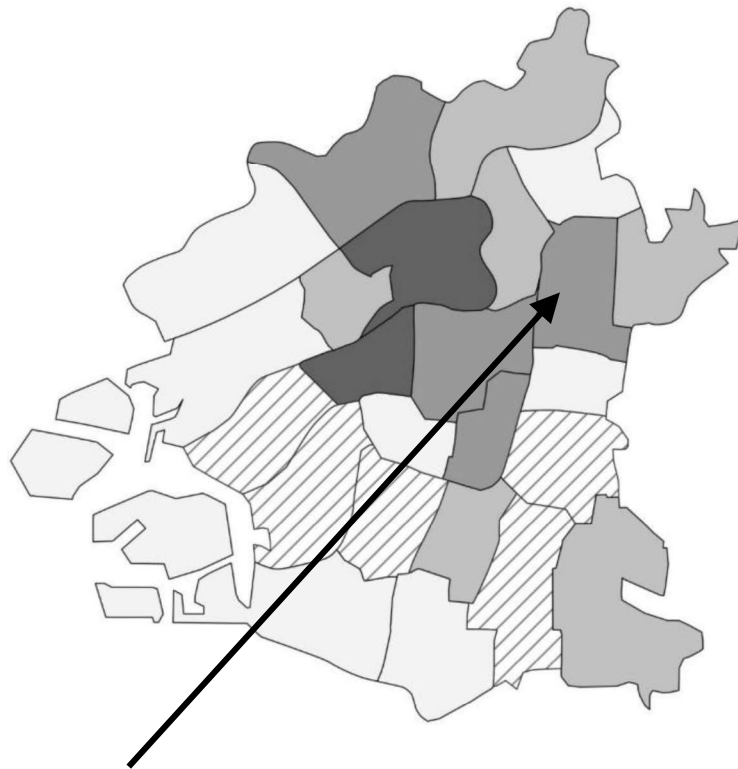


Ⅱ 区の現状と課題

各区の高齢者人口推移・将来予測（2015⇒2045増減数）



	マイナス(減少)	港区、大正区、生野区、東住吉区、西成区
	5千人未満の増加	此花区、浪速区、西淀川区、東成区、旭区、住之江区、住吉区
	5千人以上－ 1万人未満の増加	都島区、福島区、東淀川区、鶴見区、阿倍野区、平野区
	1万人以上－ 1万5千人未満の増加	中央区、天王寺区、淀川区、 <u>城東区</u>
	1万5千人以上の増加	北区、西区

(資料)総務省「国勢調査」
大阪市「大阪市の将来推計人口(令和元年度)」

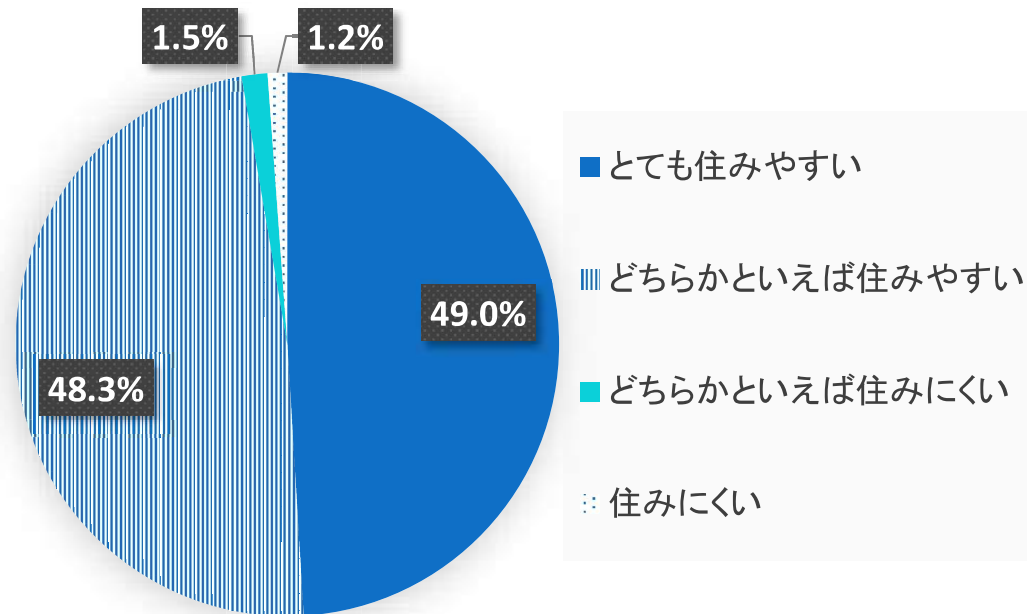
・一方、城東区の高齢者（65歳以上）人口は、2015年から2045年にかけて増加が予測されており、さらなる高齢化率の上昇が見込まれてます。

Ⅱ 区の現状と課題

区民意識

(資料)令和3年度城東区民アンケート(無作為抽出)による

●城東区はあなたにとって住みやすいまちですか。



住みやすいと感じる主な理由

鉄道やバスなど、交通が便利(40.7%)

買物に便利(26.3%)

通勤・通学が便利(9.7%)

など

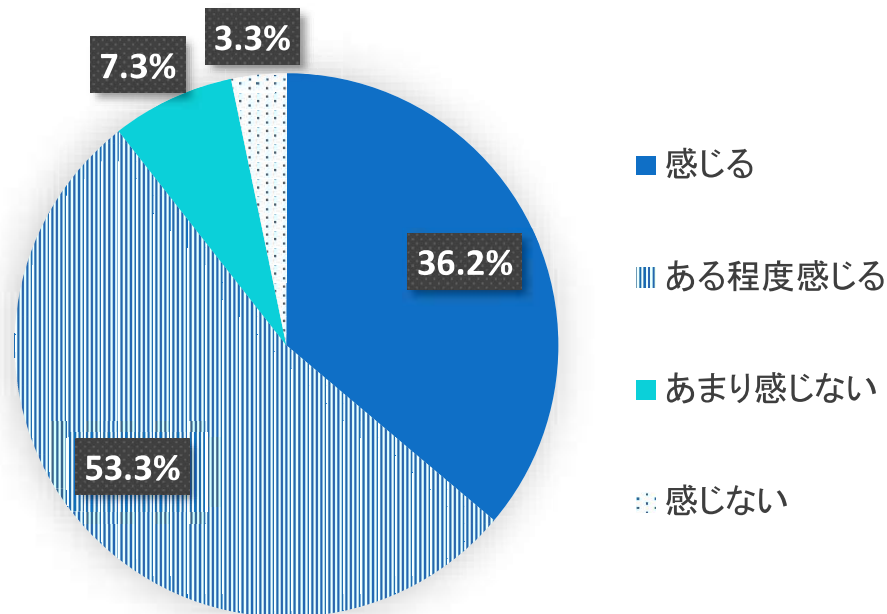
・「とても住みやすい」(49.0%)が最も高く、「どちらかといえば住みやすい」(48.3%)を合わせると、9割以上(97.3%)の方に「住みやすい」と回答いただいています。

Ⅱ 区の現状と課題

区民意識

(資料)令和3年度城東区民アンケート(無作為抽出)による

●城東区に愛着を感じますか。



愛着を感じる主な理由

交通の便利が良いから(40.9%)

ふるさとであるから(18.5%)

まちの雰囲気が良いから(17.0%) など

・「ある程度感じる」(53.3%)が最も高く、「感じる」(36.2%)を合わせると、9割弱(89.5%)の方に「愛着を感じる」と回答いただいています。

Ⅱ 区の現状と課題

区民意識

(資料)令和3年度城東区民アンケート(無作為抽出)による

●あなたは、城東区役所が重点的に取り組むべきことは何だと考えていますか。

項 目	割 合	備 考
安全・安心なまちづくり(防災・防犯)	35.4%	どの年齢層でも高い割合(1～2位)である
子育て支援・青少年健全育成	17.0%	29歳以下、30歳～39歳の年齢層では最も高い割合である。
文化・歴史を活用したまちの魅力向上	1.9%	
まちのにぎわいづくり	5.9%	
地域活動の活性化	5.6%	
福祉・保健	15.9%	50歳以上の年齢層については、防災・防犯に次いで高い割合である。
緑化・美化	6.7%	
教育	3.3%	
商店街の振興	4.4%	
ものづくり支援	1.5%	
その他	2.3%	「地球温暖化」、「すべて」、「特になし」など

・全世代を通じて「安全・安心なまちづくり(防災・防犯)」が高いです。なお、39歳以下の世代では「子育て支援・青少年健全育成」が高く、50歳以上では「福祉・保健」が高い割合を占めています。

Ⅱ 区の現状と課題

区の課題認識

- ・前期の将来ビジョン及び毎年度の区運営方針において、「城東区に住んでよかったと思えるまち～人が輝き、活気にあふれ、まちに愛着があること～」を区のめざすこととして掲げ、各事業・施策に取り組んできました。

- ・現在、人口密度が大阪市内でも高く、区民アンケートでも多くの方に「住みやすい」と評価、城東区に「愛着」を感じていただいているなど、「住のまち」として認識いただいていると考えられます。

- ・一方、今後、人口減少や少子高齢化がより一層進んでいく状況の中、引き続き住みやすく、子ども、高齢者、障がい者などすべての人がいきいきと、安心して地域で暮らしていける地域づくりを進めていくには、地域の皆さんのご協力は不可欠ですが、地域での活動の担い手は年々減少傾向にあり、地域活動の担い手や参加者を広げていくことは重要な課題です。

- ・引き続き、城東区役所は、区民ニーズの高い防災・防犯、子育て、健康・福祉の分野に力を注ぐのはもちろん、区民の皆さんをはじめ、地域団体、企業など城東区に関わる皆さんと協働しながら、さまざまな課題の解決に向けて取り組むべく、皆さんが信頼できる、区民のための区役所づくりが必要と考えます。

Ⅲ 将来像と基本理念

地域としての区のめざすべき「将来像」と、その実現に向けて、基本となる考え方として「基本理念」を定めます。この基本理念を各施策・事業や取組みを進めるにあたっての考え方とします。

将来像 「住んでよかったと思えるまち～人が輝き活気にあふれ、まちに愛着があること～」

- 基本理念**
- ① 住む人、訪れる人がふれあい、きずなを大切にし、地域全体で支えあう「温かいまち」
 - ② 住民の皆さん一人ひとりが考え、つくりあげる「住民主体のまち」
 - ③ 誰もが穏やかに日々を過ごすことができる「安心なまち」



IV 施策展開の方向性

将来像の実現に向け、基本理念の考え方にに基づき、施策・事業を次の方向性で進めます。

施策展開の方向性	戦略
1 人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちへ	(1) 地域におけるつながりを通じたまちづくり
	(2) 区民が生き活きと活躍している魅力あるまちづくり
2 地域で支えあう安全で安心なまちへ	(1) 自助・共助を基本とした災害に強いまちづくり
	(2) 犯罪の少ない安全で安心なまちづくり
3 安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く子どもを育むまちへ	(1) 子育て世帯が安心して、生み育て、働くことができるまちづくり
	(2) 子どもたちの可能性を育むまちづくり
4 地域が支えあい、住み慣れた場所で安心して暮らせるまちへ	(1) 高齢者、障がい者、子どもを地域が互いに見守り、支えあうまちづくり
	(2) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくり
	(3) 必要な時に必要な支援が受けられるまちづくり

Ⅳ 施策展開の方向性 ～ SDGsを意識した区政運営 ～

SDGs（エスディー・ジー・ズ）（※）とは、「持続可能な開発目標」という意味であり、2030年までに達成すべき、開発が進んだ国もまだ途中の国も、国も地方も、会社も学校も、大人も子どもも、あらゆる垣根を超えて協力し、より良い未来をつくろうと国際連合で決まった17の目標（ゴール）です。

城東区では、めざすべき将来像である「住んでよかったと思えるまち」の実現をめざし、地域社会の課題を解決し、運営を持続できるよう、「城東区SDGs行動指針」に基づき、SDGsを意識した区政運営に取り組んでまいります。



城東区×SDGs

※SDGs…Sustainable Development Goalsの略。「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能な社会の実現をめざす世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。

城東区SDGs行動指針

城東区役所では、「住んでよかったと思えるまち」の実現を進めるにあたり、3つの理念「温かいまち」「住民主体のまち」「安心なまち」を定め、SDGsに取り組んでいるところです。

2025年大阪・関西万博は、2030年のSDGsの達成にとどまらず、その先に向けた姿が示されることも期待されています。

こうした潮流を的確に捉え、地域社会の持続可能性を高めていくため、区民の皆さまへのSDGsの浸透を図るなど、SDGsの取り組みをさらに進めてまいります。

令和3年2月1日
城東区長 大東 辰起



Ⅳ－１ 【施策展開の方向性】 人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ 豊かなまちへ

めざす姿

- ・さまざまな活動主体が互いに連携して活動し、コミュニティが豊かになっている

成果目標

住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じる区民の割合 70%

戦略

(1) 地域におけるつながりを通じたまちづくり

(めざす状態)

- ・地域においてさまざまな活動主体が、連携を進めることで、地域課題の解決に向けた取組みが自律的に進められている状態

(2) 区民が生き生きと活躍している魅力あるまちづくり

(めざす状態)

- ・多くの区民の皆さんが、区民主体のさまざまなまちづくりに関連する事業または企画に参加し、区民の活躍で魅力あるまちづくりが進む状態
- ・人権が尊重され区民ひとりひとりが尊重しあう状態



IV-1 【施策展開の方向性】 人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ 豊かなまちへ

具体的な取組み（例）

- ① 区役所・中間支援組織（まちづくりセンター）による地域活動協議会の自律運営に向けた支援
- ② 各種まちづくりの担い手との協働・支援による区民全体の魅力あるまちづくりが進む環境づくり

【イメージ図】

